



①花の道

住宅街からも海が見えるように敷地の中央は開けているため、塩害・耐寒性を持った花や樹木を植えている。
段差のある花壇をいくつか作ることで目線に近い場所で花々を鑑賞することができる。

②海の広場

海の側に存在する広場。主に子どもたちが主体となって遊び等の活動を想定している。
山からの雨水を溜めた池にウッドデッキを組み身近に水と触れ合える空間を成した。
海と鯨の科学館子どもたちが集まってシーグラスを使用した体験

③水の空間

敷地東側の高所にある貯水ダムから水を引いた規模の大きい池が主体の空間。南方の原生林からキジヤトカゲなど多様な生物が降りてきて水を飲みに来る。

④穏やかな丘

防波堤の地形の一部の丘を囲むように存在する。ウォーキングの途中で休憩を取るため木製（木の名前とか）の波打つクライミングチェアに横たわれる。
夏の終わりから秋にかけて海沿いに群生するススキを眺めながら静かな時間の流れを体全体で感じ取れる。

⑤住民の広場

年齢問わず住民がスポーツや活動を通してコミュニケーションを行う広場。
年間を通してイベントを開くことを想定。夏には早朝にラジオ体操で健康効果も見込める。

⑥木陰の道

密度が大きく木陰の多い通り道。北方からの原生林のタブノキが侵食、広がってきた所に僅かに開けた空間を作ることで周辺から切り取られた静かさを持っている場所。

- 賑やかな道 —
- 静かな道 —
- 道路 —